

こんにちは 江尻 かなです



総務企画委員会で質問

日本共産党

46

詳しくは
KANAwEBで



- 日々の活動や思ったことを発信しています。
- 「江尻加那」で検索してください。

江尻かな議員は、所属する県議会総務企画委員会に付託されたハツ場ダム事業費の増額議案に反対しました。(裏面参照)

利根川上流の群馬県につくられるハツ場ダムによって、茨城県は日量約9万トンの水を得ようとしています。しかし、県全体で今でも46万ト

(100万人分以上)余っています。「必要のないになぜつくるのか」。

それは、県人口を420万人と過大想定しているからです。現在の県人口は292万人。国も県も人口が減っている今、税金の無駄使いと環境破壊のダム建設は中止すべきです。

●水道料金なぜ高い？

ダムの開発費は県民の水道料金にはね返ってきます。2ヶ月に1度引き落とされる水道料金を「高い」と感じる方も多いはず。

水戸市は、那珂川の水を使って1トあたり152円かけてつくった水道水を、市民に163円で供給しています。そして、自前の水で足りているにもかかわらず、県からも水を買っています。その単価は187円。これは、都道府県が供給する水としては全国一高いと言われています。

投票率18歳48%・19歳38%

7月の参院選で初めて18歳選挙権が実施されました。

主権者教育のとりくみ

茨城県の投票率は18歳が48%、19歳が38%。江尻議員が「19歳が低い要因」をたずねたのに対し、県は「18歳の多くが主権者教育を受け、学校で投票に行くよう指導された一方、19歳は約7割が受けていない」と説明。「大学などに設置する期日前投票所を拡充するなど、投票しやすい環境をつくっていきたい」と答えました。

また「郵便投票の拡大と周知」

2016年参院選投票率			
	18歳	19歳	全体
全国	51%	42%	55%
茨城県	48%	38%	51%
水戸市	46%	34%	51%
城里町	43%	40%	51%

を求めた江尻議員。今は障がい者と要介護5の方が対象です。

さらに、県内市町村の8割が、投票所の終了時間を午後6時や7時に繰り上げていることの改善を主張。公職選挙法では原則午後8時とされています。

江尻議員は「水は足りているのにダムをつくり、洪水対策に必要な堤防整備がおろそかにされている」と批判し、ダム建設の中止と水道料金の引き下げを求めました。

しかし、県議会では自民、公明、民進党がそろって事業

費増額を認めました。

●企業の水だけ値下げ

県の水道事業会計は昨年度32億円の赤字でした。ダムの建設費など払わず、県民の水道料金を値下げすべきです。ところが知事は、企業に供給する工業用水だけ今年度から値下げしました。ここにも、企業優先、県民の暮らしは後回しという姿勢が表れているのではないのでしょうか。

来年秋に、茨城県知事選挙が予定されています。県政を変えましょう。



えじり日記

